

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 注意喚起を文章化した転倒転落アセスメントシートの新たな活用方法

[研究責任者] リハビリテーション科 理学療法士 小池友和

[研究の背景]

当院では、平成20年の“国立病院機構における医療安全対策への取り組み”で導入された転倒転落アセスメントシートを転倒予防対策の検査として使用しています。しかし、判定結果はA,B,Cの3段階で表示されるため具体的な注意点のイメージがつきにくく患者臨床像とリスク判定との乖離が認められる事があります。そのため、転倒予防対策を行う上で転倒転落アセスメントシートの新たな活用方法を見いだす必要があります。

[研究の目的]

入院中に転倒や転落を起こしてしまうと本来の治療に要する以上に入院日数が長くなることが多いです。入院された方が安全に医療を受けることができるように転倒転落予防対策をとるのが有用とされています。本研究では転倒転落による事故を未然に防ぐために必要な情報を集約し検証します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2023年4月1日から2023年7月31日までに入院された患者さん

- ① 転倒した症例 : 105例
- ② 転倒しなかった症例 : 400例(70歳~89歳の中から無作為に抽出)

●研究期間: 2023年9月19日から2024年10月31日

●利用するカルテ情報

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、転倒時状況、転倒転落アセスメントシート結果

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

利用する情報から直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会など

国立病院機構相模原病院 情報公開用文書 作成日 2023年9月11日 第1.0版
で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の参加について]

この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院

リハビリテーション科 理学療法士 小池 友和

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314